

令和3年度 第1回練馬区放課後子ども総合プラン運営委員会 会議要録

- 1 日時 令和3年7月14日(水)午後6時30分～午後8時30分
- 2 場所 本庁舎7階 防災センター
- 3 議事および意見・質疑ならびに回答要旨
委員委嘱
委員自己紹介
座長・副座長の選出
座長・副座長ともに、立候補の意向を示す委員は二人の他にないため、他の委員の同意を得たうえで決定した。

コロナ禍における児童の放課後等の居場所の対応状況について

意見・質疑要旨

- ア 窓開け換気中の防犯対策をどうしているか。
- イ 密を避けるため、放課後に使っていない教室の利用を積極的にしてほしい。

回答要旨

- ア 施設形態が多様なので、窓開け時間を決めて換気するなど、施設に合った方法で対応している。換気だけに気を取られないよう、改めて注意喚起を行う。
- イ 教室の利用については、引き続き各小学校と相談して決めていく。

区立学童クラブ在籍・待機児童数および待機児童対策についておよび、ねりっこクラブ事業およびねりっこプラスについて

意見・質疑要旨

- ア 東大泉地区区民館学童クラブをなくす決定をなぜしたのか。ねりっこクラブに馴染めない児童はどこで過ごせばよいのか。
 - イ 待機児童対策として、ねりっこプラスやランドセル来館等の対応をしているが、それぞれの児童が過ごす環境についても、目を向けてほしい。
 - ウ ねりっこクラブでは、学童の児童と、ひろばの児童の対応が異なっている。一体化後の児童への対応や指導について区はどのように考えているのか。
 - エ 春日小ねりっこクラブが公募と出ていたが事業者が変わるのか。
- (以下、ご意見のみ)
- オ ねりっこクラブになると、これまでの学校応援団事業の進め方が、事業者とうまく調整できるか心配していた。事業者の方針ごとに異なると思うが、引き続きすり合わせを行っていききたい。
 - カ 小竹小にはねりっこクラブがない。夏休みの期間だけでもひろばを行ってもらえないかという声をよく聞く。ひろばの大切さを痛感している。

- キ 学童クラブのスタッフの業務を効率化し、児童に目を向けられる時間を増やせるようにしてもらいたい。いろいろな経験のあるスタッフが子どもに関われることが大切なので、システムの導入など人がやらなくてもいいことは何か、考えてほしい。
- ク コロナによって保護者の集まりが減り、保護者同士の顔がわからなくなっている。不審者対策の面からも、保護者同士の顔を知る方法を考えなくてはならない。

回答要旨

- ア ねりっこクラブに限らず、放課後を過ごす集団に馴染めない児童はいることと思う。そうした児童が心地よい居場所を選べるように、学童、ひろば、児童館、地区区民館等を用意している。改修後も東大泉地区区民館に児童向けの居場所機能は残るが、地域の施設として他の用途も必要である。大泉小が120人規模の学童になるため、総合的に判断し、東大泉地区区民館学童クラブの廃止を決定した。
- イ 待機児童については、学童クラブに入れるのが一番望ましく、ねりっこプラスやランドセル来館が最善とは考えていない。それぞれの対策においても、安全を第一にしながら、限られたスペースの中で、子どもたちの居場所としての環境整備を工夫していきたい。
- ウ どういう対応が望ましいかについては、保護者によっても様々な考え方があると思う。子どもの生活の場、遊びの場として、一定の範囲の中で、やや厳しめなのか、より自由度が高いのか、価値観にある程度の振れ幅があるのは当然。子どもの自主性が重んじられる時間にしていくためには、一律の対応がいいというものではないが、あまり極端で気になるということがあれば、今後も区にご意見をいただきたい。
- エ 令和3年度までの長期継続契約で委託契約を行っている学童クラブについては、令和4年度からは、新たにねりっこクラブの5年間の長期継続契約となるため、現在の事業者も含めて公募を新たに行っている。

4 連絡事項

次回開催は令和3年12月中旬頃の予定。